

Q.炊飯後の食缶に黒いものがあった。これは何でしょうか？

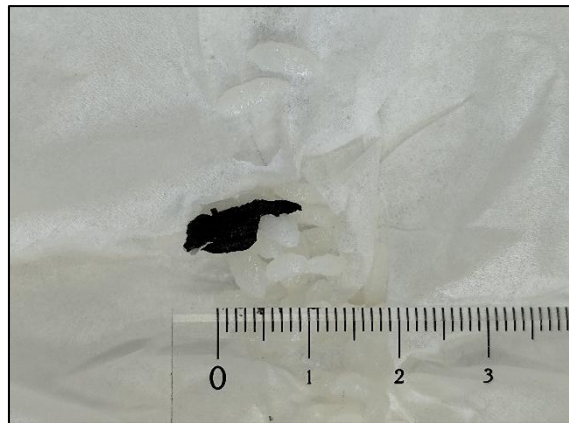
A. これは炭化した米粒（ご飯の焦げ）、でん粉質の焦げです。

浸漬タンクにて吸水させた米は自動で計量され炊飯釜に投入されます。その時に炊飯釜から飛び出した米粒が炊飯釜の側面等に付着してしまうことがあり、そのまま炊飯ラインを通過することで、直火により黒く炭化してしまうことがあります。その後の反転機にて炊飯釜を反転させた時の振動により、ほぐし機内に落下し、食缶に入ったと考えられます。

また、炊飯中にデンプン質を含んだ水が炊飯釜の中で沸き立ち、ヒラヒラとした膜の様なものが炊飯釜の内側に沿って作られ、通常であれば茶褐色程度にしか変色しないものが、噴きこぼれで炊飯釜の外側や釜の淵などに付着し、直火で焼き焦がされ黒くなったものが上記同様に反転機にて炊飯釜を反転させた時の振動により、ほぐし機内に落下し、食缶に入ったと考えられます。

下記写真のような状態になる場合がありますが、当該周辺を取り除いて喫食しても問題ありません。

▼炊飯後に発生した実際の炭化した米粒（ご飯の焦げ）、でん粉質の焦げ一覧





浸漬米投入時の付着状況

上部浸漬タンクより、浸漬米を計量し投入する際に米粒が外に飛び出し釜の側面に付着することがあります。



炊飯後の付着米の状態

釜の外側に米粒が付着したまま炊飯工程を通過し終わってしまうと、炊飯時の直火によって黒く炭化した米粒が付着したままになってしまうことがあります。